



## 第26回 定期総会と文化庁北村佑人氏の特別講演のご報告

### ●第26回定期総会

2019年4月21日(日) 13時00分より、東京ボランティア市民活動センター会議室で、第26回定期総会が開かれました。出席者と委任状の合計は58で、現正会員89団体の過半数を超え、規約第7条3項の規定により総会は成立しました。

2018年度活動報告、2018年度決算、2019年度役員及び会計監査人選出、2019年度活動計画、2019年度予算(案)について審議が行われ、監査報告を含め、議案は全て承認されました。



総会

### ●文化庁日本語専門職北村佑人氏の特別講演

今年度から、多くの特定技能労働者が働く事になり、その人達と日本語で意思疎通を図っていく為の日本語教育についての関心は高く、講演に対する質問や意見が多く出て、北村氏のご好意で、2時間に及ぶ講演会になりました。北村氏には、予定を大幅に超えて質問にお答え下さり、感謝致します。

講演は、全省庁が関係する施策、文科省と文化庁が関係する施策、文化庁が行う施策についての概念を理解する

事から始まり、文化庁が担う施策について詳しい説明がありました。(詳しい内容は文化庁のホームページをご覧ください)

全省庁横断の考え方として“生活者としての外国人に対する支援”があり、文化庁が担う施策が外国人に対する日本語教育の推進です。

具体的な施策として、①「生活者としての外国人」のための日本語教育事業、②地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業、③「生活者としての外国人」のための日本語教育空白地域解消推進事業、④日本語教育の人材養成及び現職者研修カリキュラムの開発事業、⑤日本語教育に関する調査及び調査研究等、⑥条約難民及び第三国定住難民に対する日本語教育が挙げられています。

①～⑥の施策の中で、TNVN会員にとって、特に関心があると思われるのが、地域の日本語教育を主として誰が担うのか、日本語学校の日本語教師とボランティア教室の支援者をどう位置付けているかと云う点だと思います。

地域の日本語教育を主として誰が担うのか。文化審議会国語分科会日本語教育小委員会は、国・都道府県・区市町村の役割分担を示し、我々に関係がある区市町村は、都道府県が検討・調整した日本語教育の内容等を現場の実情に沿って具体化すること、地域における日本語教育の指導者を養成することなどの役割を担うとしています。

地域で日本語を教える人材については、文化審議会国語分科会では、日本語教育人材の資質・能力の向上を目的



特別講演・北村氏

として、「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」をまとめています。

お話しを伺って、行政の施策・考え方は理論的には理解出来るのですが、ボランティア日本語教室は日本語教育機関なのか疑問です。国語分科会の考え方として、職業として日本語を教えるのも、ボランティアとして教えるのも、やっている事は同じという前提ですが、地域のボランティア日本語教室は日本語教育機関ではないと考えると、やっている事は異なると思います。

文化庁の調査によれば、ボランティアを含めた日本語教師が約4万人で、その内約6割がボランティアだそうです。只、地域で活動しているボランティアは日本語教師ではないと云う基本は、共通の認識として持つ必要があるのではないのでしょうか。日本語を学習したいと望む人への学習支援です。

ボランティア日本語教室に、日本語教師、地域日本語教育コーディネーター、日本語教育支援者を置き、日本語を教えるというスキームは、都内の各地域で活動しているボランティア教室に適応出来るでしょうか。読者の皆様のご意見は如何でしょうか。

(文責・神)

# 地域日本語教室からみつめる外国人相談

— 「困った」に出会った時どのように対応したらよいか —

寄稿

## 新居みどり

NPO法人国際活動市民中心コーディネーター  
(東京出入国在留管理局主管 外国人総合相談支援センター 統括コーディネーター)



相談センターの様子

「夫が生活費をぜんぜんくれません。私のパートのお金も全部取り上げて、子どもの洋服さえも買えなくて困っています」ある日の日本語教室で、学習者さんが、ふっとなこんな話をしました。その時どうしますか。

NPO法人国際活動市民中心（通称シंगा）は弁護士や行政書士、精神科医などがメンバーとなって毎月無料で専門家相談会をしています。15年以上外国人の相談に対応してきて思うのは、人は困ったとき、身近で安心できる人に相談をするということです。

### ◆全国100か所に相談センター設置

国は新たな在留資格の創設にあたり、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」をまとめました。126施策のひとつとして「多文化共生総合相談ワンストップセンター」が設置されます。47都道府県と20政令指定都市のほか、外国人が1万人以上もしくは5000人以上集住し、全住民に占める割合が2%以上（東京23区は1万人以上で6%以上）の自治体が対象です。

この相談センターでは、在住外国人が抱える生活全般の相談に一義的に対応することが求められています。多言語で課題に応じて情報提供を行うとともに、個々の相談に対応できる組織・機関につなぐ相談対応がなされています。

### ◆東京都内の外国人相談事業の状況

東京都内では、自治体主体の外国人相談窓口43か所設置されています（CINGA調べ2017度）。

また、自治体や国際交流協会、NPOなどで組織された「東京外国人支援ネットワーク」が存在し、リレー式の外国人無料専門家相談会を都内で実施しています。

この相談会は、複数の専門家と通訳者が一つの会場に集まり、来場した相談者はワンストップ型で相談が無料でできます。

2019年度は14か所で実施される予定です。（日程等詳細は、東京都国際交流委員会HPにて12言語で閲覧可能 [https://www.tokyo-icc.jp/relay\\_soudan/index.html](https://www.tokyo-icc.jp/relay_soudan/index.html)）



専門家相談の様子

### ◆外国人はどのようなことに困っているのか

外国人相談で分析すると、大きく法律、行政、教育、こころの相談の4つの分野に分けられ、在留資格が関係する法律分野の相談が約6割を占めます。4分野が複雑に絡み合った相談もあり、専門性の高い相談員が言語だけでなく、文化的・制度習慣的な違いにも配慮して対応しています。

その基本姿勢は、外国人住民が日々の生活の中で抱える問題について、情報提供や専門家等からの適切なアドバイスを得ることで、外国人自身がその問題を解決できるように支援することです。

### ◆地域日本語教室から「つなぐ」

地域日本語教室で、困っている外国人に出会ったとき、近くの外国人相談窓口、またはリレー式相談会の存在を教えてあげてください。相談窓口の場所や電話番号を教えても外国人がひとりで行動することはなかなかできません。教室など相談者が安心する場から一緒に電話してもらえたなら、心強いと思います。その時に、相談者の「在留資格」を聞き取ってもらえるとより相談がスムーズです。

地域日本語教室は定期的・継続的に開かれ、そこに暮らす外国人住民にとって「あなたが来て良い場所ですよ」という身近な存在であり相談しやすい場所になります。

教室は、日本語学習、異文化理解、情報提供、相談機能といったさまざまな役割を担っており、外国人相談の最前線とも言えるかもしれません。

ここにしかかわる多くの人が、外国人相談の情報を知り、つないでくれたならば、地域に安心のセーフティーネットをはることができるのではないかと考えています。

全国規模の外国人相談センターとして「外国人総合相談支援センター（03-3202-5535）」があります。平日毎日9時~4時で、多言語で相談ができます。2019年度はCINGAが事業を受託しました。

### ■東京出入国在留管理局

<http://www.immi-moj.go.jp/info/index.html>

### ■特定非営利活動法人国際活動市民中心（CINGA）

〒101-0051東京都千代田区神田神保町2-3

神田古書センタービル6F

TEL 03-6261-6225 [nii@cinga.or.jp](mailto:nii@cinga.or.jp)

<http://www.cinga.or.jp/index.html>

# BJがやって来る

日本語教師 金子広幸



このニュースレターの連載を長年お預かりしている金子ですが、悩みがございます。それは「大学で日本語を教えている私」と「地域支援の場で交流支援をされている皆さん」とのギャップです。学習者に向かう姿勢が違うのではないか、もしかしたら皆さんも私の駄文を読みながらそう思っているんじゃないかな、もしかしたら皆さんも私の駄文を読みながらそう思っているんじゃないかな、もしかしたら皆さんも私の駄文を読みながらそう思っているんじゃないかな。

そんなわたくしに千載一遇のチャンスが巡ってまいりました。台湾から旧友の息子BJが私のうちにホームステイするのです。私は彼が生まれた時からよく知っていて、普段は中国語で話すのですが、BJはアメリカで医学を志していて、日本語はほとんどできません。「兵役」が始まる「召集」までの数ヶ月パッケージを兼ねて私の家で共同生活をするのです。そんな「学習者」に接することになったのです。

…敗戦から70有余年、国際平和を誠実に希求する現代日本に生きる、この私の口から、「召集令状」「軍事訓練」「兵役」「入営」などという言葉が出るなんて！まさか家族同様の人の身の上にこんなことが起こるなんて！私は親代わりとして胸が張りさけそうです！…まあそれは次回に書くとして、

こここそ国際的視野の広さが求められる場面ですね。

東京で生活するには日本語を覚えてもらわなければなりません。勉強家な彼は難なく覚えてくれるだろうと思いきや、このBJ君なかなか難航しています。なにせ金子がそばにいないから、英語を選び、アメリカに行った人ですから、前回京都に行った時にもお店で「サンキュー」と言っただけ、隣の金子に「こら！」とたしなめられていました。

毎日のようにLINE電話で話すのですが、最近覚えた日本語は「おやすみなさい」「おはよう」「お疲れ様」「よかったね」「おめでとう」「だいじょうぶだよ」「わかりました」で、「サンキュー」に代わる「ありがとう」は“頻出語”ではなかったらしくなかなか言ってくれません。…思えば、家族同士で「ありがとう」なんて言うかな。父が元気だったころ息子である私は何回父にありがとうと言えたことか。

とにかく私にとってBJは学生ではありませんから、ふざけながら、遊びながら、日本語を覚えていくわけですが、あっという間に覚えたのは「だめ」「いてえな」「おめえ、やめろよ」「お尻ペンペン」でした。読者の皆様の金子に対する“美しいイメージ”の崩壊する音がここまで響いてきそうです（嗚呼！）。

でも、「教科書で学んでいると、日本の若者からは浮いてしまう」と言う学生の嘆きをたまに聞きます。皆様の中には中高生をはじめとする若い外国人男子と交流されている方もおいでなのでは？男同士の日本語教科書が必要ですよ。私見ですが、卑語と

されている「俺」などの男性語も立派な現代日本語の位相であることを、私たち男性日本語使用者は意識してもいいと考えます。最近のニュースで「日本では外国人子弟の1万人以上が日本語支援を受けられていない」ということを聞きましたが、皆様の日々の活動の中でも、この問題にかかわる可能性が、より高くなっていくかもしれませんね。「現状把握」と「学習者がどんなスタイルの日本語を選ぶか」に私たちは注意を向けなければなりません。

ここで、クイズです。「来日2週間、ほとんど日本語ができない状態で地域の日本語支援の場に来た外国人市民にとって、次の3つのうちどれが1番役に立つ表現でしょうか」

- 1) これはペンです
- 2) いくらですか
- 3) すみません、もらってもいいですか。

様々な考え方があると思いますが、とりあえず日本に滞在するという当面の目的がある人に関しては、3) がいちばん役に立つのではないのでしょうか。「観光案内所で一番役に立ったのはこの表現だった」と初級のクラスの学生が言っていました。少なくとも1) は絶対に言わないし、2) はやや言いそうですが、蚤の市か上野のアメ横にでも行かない限り、値札がきちんとついている現代日本では、口に出していう可能性は低いです。

文法が並んで日本語ができると思っただけの私たち。それよりも、コミュニケーションの成立が先であることに注意を向けたいですね。さて、ヤツが来たら、今度は何を覚えさせてやる。今からワクワクします。



TNVN「わかる日本語」研究会では、これまでに冊子『わかる日本語』研究会報告』『わかる日本語』作成のための手引き』をまとめましたが、内容は主に「書く」ことに関するものでした。今回はわかる日本語（やさしい日本語）で「話す／会話をする」時の注意点をまとめました。

基本は「書く」場合と共通ですが、「話す」コミュニケーションには「態度／話し方」そして「対面していることを生かす」ことが大切です。地域で外国の人と接する時、わかる日本語の文書を作る機会よりも「話す」機会の方がはるかに多いものです。日本語教室を場面にした文例も挙げましたので、活動の参考にしてください。

### ◎態度／話し方

- ・外国の人と話しをする時は、相手を尊重し相手の日本語力に合わせてすることが大切です。
- ・ゆっくり、はっきりと話しますが、必要以上にゆっくり話したり、子ども相手のように話すことは避けます。むしろ一度にたくさん話さない、重要な言葉が聞き取りやすいように抑揚をつける／繰り返すなど、相手が理解しやすい話し方を心がけます。
- ・相手の話を聞く時は積極的に表情やあいづちで、「聞いている」ことを示します。相手が話しやすいよう、待つ姿勢が大切です。

### ◎わかる日本語の基本にそって話す

- ・短い文、日常使う言葉で話します。「書く」場合と同じです。敬語も使いません。
- ・伝えたいことのポイントをしぼり、重要なことや結論を先に言います。
- ・話し言葉では、前後関係から分かることを省略しがちですが、主語・述語を省略せず話すことで分かりやすくなります。
- ・「です・ます」の形を使い、あいまいにならないよう、文末までしっかりと話します。
- ・同音異義語に気をつけます。

### ◎対面していることを生かす

- ・相手が理解しているかどうか、表情や反応に気をつけます。伝わっていないと感じたらもう一度ゆっくり話す、あるいは別な表現をします。
- ・ジェスチャーや、実物・絵・図を使う、重要なことを書きだしたり印刷物がある時は話しながら要点にするしをするなどの工夫もできます。

### ●アドバイス① 日本語の学習につなぐ

相手がうまく表現できなくても、言おうとすることが想像できることがあります。そのような時も、言いたい事を先どりせず、言葉が出るのを少し待ちましょう。また、日常の会話でそのつど間違いを指摘しては、会話の流れが途切れます。助詞が抜けたり間違った表現をした時などは、さりげなく言い直します。

### ●アドバイス② やり取りを通じて互いに理解する

あいづちをうったり、「…ですね」と言い直すことで、理解していることが相手に伝わります。相手の言う事がよく分からない時は、「…ということですね」と確認します。

質問の意味が伝わらない時は、答えの例を挙げると良いでしょう。「分かりましたか」という問いには、分かっていなくても「はい」と返事が返ってきがちです。表情などで判断すると良いでしょう。

### ●アドバイス③ 思い違いを避けるために

口頭で日時を伝える時は、「あさって」「来週の○曜日」といった表現と併せて、具体的に「○月○日○曜日」と付け加えます。時間には、「午前／午後」や「朝の／夕方の／夜の」をつけて言います。時間や場所の約束は、メモを渡すと確実です。

### ●アドバイス④ 細かいところまで伝えたい時

わかる日本語（やさしい日本語）だけで伝えるのには、限界があります。内容によっては、多言語の語彙表やアプリを補助的に使う、相手の母語を使う、通訳をしてもらい、等の方法をとります。

### ●アドバイス⑤ 電話での会話

相手の反応が分かりにくいので、対面の時よりも確認を丁寧に行います。メールやショートメールなど文字でも連絡できるようにしておきます。

### ●アドバイス⑥ 司会をする時

日本語教室では、懇親会やスピーチ大会の司会進行のように、大勢に向けて一方的に話すことがあります。聞き手の日本語力が一様でない場合が多いので、様子を見ながら、ゆっくりはっきりと、会話をする時よりもさらに分かりやすい話し方を心がけます。まず一文を話し、同じ内容をさらにやさしい表現で繰り返すのも一つの方法です。

## 例 1 日本語教室に学習希望者が初めて来たときの対応

## ■インタビューの前に

学 習 者：うーん。に・ほ・ん・ご・・・・。

ボランティア：日本語ですか。どうぞ、入ってください。  
(いすを指さして) どうぞ、座ってください。  
日本語を勉強したいですか？ 勉強しますか？

学 習 者：はい

## ■インタビュー 相手の反応を見ながらゆっくり行う。

ボランティア：(申込書を机に置いて) 今日の日にしち(ボラが書く場合もある)と、名前と住所と電話を書いてください。  
English Okです。(カタ仮名や漢字が書けない場合はローマ字で書いてもらい、読み上げて確認する。在留カードを所持しているなら見せてもらって確認する。なるべく自分で記入してもらう)  
(世界地図を見せながら) ○○さんは、どこから来ましたか？  
(日本を指さして) ここは日本です。  
(中国を指さして) ここは中国です。(指を中国から、日本へ移動させながら) ○○さんは、中国から来ましたか？  
(同じように指さしながら) フィリピンから来ましたか？  
ベトナムから？

学 習 者：xxxから・・・

ボランティア：xxxから来ましたか？ はい、分かりました。(以下省略)

- ・初対面の人には、まず簡単な日本語と身振りで対応します。
- ・学習者が座ってから話します。

- ・通じているかどうかを見て、相手の日本語力に合わせてるようにします。短い文をゆっくりはっきりと話します。
- ・ローマ字という言いかたを知らないことが多いです。

- ・実物(地図)と動作で意味を伝えます。

- ・答が出ない時は、例を挙げてみます。

- ・答を繰り返して確認します。

## 例 2 日本語教室での避難訓練(大勢に向かって話す)

ボランティア：皆さん、日本語の勉強をしている時、地震や火事があったら、どうしますか。今日は避難訓練、逃げる練習をします。放送があったら始めます。

館内放送：こちらは○○会館です。ただ今より避難訓練を始めます。  
【警報音】こちらは○○会館、防災センターです。ただ今、3階の給湯室で火災が発生しました。係の指示に従って、避難してください。

ボランティア：3階の部屋が火事です。  
皆さん、大事なものだけ持って逃げます。  
財布、在留カード、携帯を持ちましたか  
(皆で、廊下に出る。)

係：エレベーターは使わないで、東階段から避難してください。

ボランティア：エレベーターは使いません(手で×印を作る)。  
こちら(手で方向を示す)の階段から逃げます。  
(廊下上方に、煙が出ていると想定して)

係：姿勢を低くしてください。

ボランティア：頭を低く(やって見せる)します。(以下省略)

- ・わかる日本語で「書く」場合と同じで、覚えてほしい言葉はそのまま使い、分かりやすく言い直します。(設定/ビル4階に教室)

- ・放送の内容を、日常使う言葉で言い直します。

- ・具体的に言います。

- ・全員に伝わるよう、一人の人が大きな声で、はっきり言います。

- ・短い文にします。

- ・具体的に大きな動作を使って指示します。(非常口の絵表示など、あらかじめ伝えておきます。)

- ・学習者が落ち着いて行動できるよう心掛けます。

※地域日本語教室は、在住外国人が備災、防災について知り、体験する場でもあります。緊急時は言葉の理解力が下がると言われています。ボランティアは、いつも以上に分かりやすく伝えることが求められます。

# Nice to Meet You

nice to meet you

■設立から40年、当時と変わることのない活動を続けています。

## 社会福祉法人さぼうと21

学習支援室コーディネーター／矢崎 理恵

社会福祉法人さぼうと21は、日本に暮らす難民の自立支援の団体として1979年に（「インドシナ難民を助ける会」として）活動を始めました。当時、自国を逃れ、日本に暮らすこととなったインドシナ難民の方々からは、「日本語が分からない」「子どもが学校の勉強についていけない」「経済的に苦しい」というご相談を数多く受けました。そこで、ボランティアによる「日本語学習支援」「子どもの学習支援」、皆様からのご芳志をもとにした「奨学金の支給」が始まりました。そして、40年の月日が流れた今も、さぼうと21は、当時と同じ活動を続けています。

毎週土曜日は10時から18時まで目黒駅近くの当団体事務所で、毎週日曜日は13時から17時まで錦糸町駅近くの貸会議室で、日本語や学校教科の学びの場が元気に進行します。個別学習が中心ですが、学習時間帯も学習ペアも、前日までにほぼ「シフト組み」が終え、当日を迎えます。学習（登録）者は5歳児から60代の大人まで約100名。かつてはほぼ、ミャンマー（ビルマ）の方々が集う場でしたが、今はそこにアフガ

ニスタン、シリア、コンゴ（民）等の出身者が加わっています。ボランティア（登録者）もほぼ100名。40代50代の社会人を中心に、高校生から定年退職者までが活動に参加しています。

教室の大きな特徴の一つは、「みんな電車でやってくる」ことです。本当は自宅近くの教室で勉強できたら良いのですが、難民的背景をもつ皆さんには、同国出身者と不用意に遭遇することを避けたいという事情があります。さぼうと21は、そんな方々にとっては、「自身の来日の事情などを話す必要のない、安心して安全な学びの場」となっています。

大切にしているのは、「整然としていない場」であるということです。目指しているのは、学習者も、ボランティアも、自分らしく「本領」発揮できる学びの場、自分の好きなことや得意なことが分かり、「あれをやってみよう

「これもできるかな」という気持ちもてるようになること、そして、それを臆せず口にできて、行動に移せること……。そのためには、ちょっと隙間や抜け道のある、「何でもあり？」と思えるような場が必要です。

学習支援の場でカフェを開く方もいれば、プログラミングの基礎講座を計画する方もいます。ネイリストになるための筆



■毎月開講

「生活力向上のためのワークショップ」

このテーマは「歩くことから始める健康」

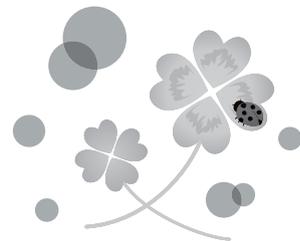
薬樹R&D株式会社のご協力で、理学療法士の方から「健康面での日頃の備えの大切さ」を話していただきました。その後希望者は屋外で「ウォーキング」練習も。

記試験の勉強をしていた方もいます。とくに日本語の勉強はやめて、もう何年もピアノだけ習っているMさん。一見日本語の学習から離れたように見え、ピアノの先生とのやりとりは全て日本語。弾き語りのための日本語の歌詞の理解に励んでいる時もあります。彼女にとって、「ピアノを習うこと」は日々の生活の中で最も自身が輝く時間であり、意味ある日本語の学習の時間でもあるのです。

帰国の選択肢のほぼない難民の方々にとっては、日本は「働く場」であり、「子どもが教育を受ける場」であり、「年を重ねながら暮らしていく場」でもあります。より良い定住を願うからこそ、抱える困難も少なくはありません。そんな皆さんにとっての「週末のご近所さん」として、息切れせずに、多様な学びの場を展開して行きたいと願っています。



毎月1回（10時～15時）、全5回の「活動基礎講座」を続けています。どなたでもご参加いただけます。本日の講師はCINGA新居さん、テーマは「外国人からの相談を受けたら？」



学習者の声

日本語が上手になったら、誰かの助けになりたい

イジヨニイル／韓国 日本語グループWAIWAI(新宿区)



私は2017年の秋頃に来日しましたが、日本に来る前は日本語で話すことはもちろん、簡単なひらがなさえ書けませんでした。

そのころから、他の日本語のボランティア教室にも参加し、一生懸命勉強に励んできました。

日本に来て1年くらい経ったころに、インターネットでWAIWAIを見つけ見学に参加しました。そのときのレッスンが面白くて、すぐに入会しました。

WAIWAI日本語教室で勉強して一番良かったと思うことは、親切でやさしい日本人ボランティアの方々に出会えたことです。

20年近く続けているボランティアの方もいて、外国人へ日本での生活を手助けするために日本語を教えていることは素晴らしいことだと思います。

皆さんのレッスンはとても面白く、どんなレッスンを受けたいかなど親身になって聞いてきてくれる方もいて、沢山色々なことを教えたいという気持ちが伝わってきます。

ですので、WAIWAIの先生方を尊敬しています。

まだまだ日本語能力が足りないところがあるので、WAIWAIでこれからも一生懸命学習したいと思います。

最も弱いところは発音だと思っているので、今後は日本語の正しい発音を身につけられるように努力したいと思います。

ボランティアとして誰かを助けてあげるのとは簡単なことではないと思います。自分の生活と仕事があるなかで、時間を割いてボランティア活動をしていくのは、心の温かな人ではないとできないと思います。私も日本語が上手になったら、何かしらのかたちで誰かの助けになりたいと思っています。

いつも色々ありがとうございます。これからも宜しくお願いします。

ボランティアの声

各国の文化や歴史などを丸くして耳を傾けています

日野岳亮 日本語グループWAIWAI(新宿区)

**日本語グループWAIWAIに入ったきっかけ**  
学生の頃より異文化交流への参加意欲があり、大学卒業後にはワーキングホリデービザでオーストラリアへ留学し、そこで外国語を学ぶことの難しさを痛感しました。それで同じく日本で苦勞していたり、新たに日本語を勉強したいと思っている外国人居住者の方々にとって、少しでも手助けになればと思い2013年に入会しました。

**WAIWAIに入会して良かったと思うこと**  
私が担当する中上級クラスでは主に、文化や社会をテーマに会話中心のレッスンを行っているため、レッスンを通じて学習者から各国の事情や歴史について色々話を聞けることがモチベーションになっていることです。

**個人の今後の課題**  
年々、外国人居住者の数が増えたり、日本語に対する需要も変化していると思いますので、その節々でニーズに合わせた日本

語学習の取り組みができるように心がけていければと思います。

**その他コメント**  
WAIWAIでボランティアを始めてから6年が経ちましたが、日本語文法などをはじめ、今まで教えることで教わることが多々ありました。  
各国の文化や歴史などについてはいつも目を丸くして、学習者のはなしに耳を傾けています。  
今後益々、異文化交流が根付いていき、日本語(ボランティア)ネットワークがより盛り上がっていくと嬉しいです。



### ● TNVN 2019年度役員・スタッフ

2019年度の役員・スタッフ・運営委員が決まりました。

宜しくご支援・ご協力をお願いします。

本年度も会員の皆さまと情報・意見交換会等を通して交流を深めて参ります。

#### ○役員・スタッフ

代表	梶村 勝利	早稲田奉仕園日本語ボランティアの会 (新宿区)
副代表	神 歩	グッドナイト日本語 (江東区)
事務局長	林川 玲子	ビバ日本語教室 (港区)
会計	矢崎 理恵	社会福祉法人さぼりと21 (品川区)
会計 (日常)	林川 玲子	ビバ日本語教室 (港区)
会計監査	山内 真理	多摩市国際交流センター日本語セミナー部 (多摩市)
スタッフ	大木 千冬	町田日本語の会 (町田市)
スタッフ	岡田美奈子	やさしい日本語 (江東区)
スタッフ	小川 伶子	初歩日本語 (練馬区)
スタッフ	床呂 英一	まちだ地域国際交流協会 (町田市)
スタッフ	松川 彩子	在宅 やさしい日本語 (江東区) HP 英文問合せ
スタッフ	大滝 敦史	在宅 HP 管理

#### ○運営委員

次の6名の方に運営委員をお願いしました。

坂本 弘一	かけはし (足立区)
渡辺 紀子	まちだ地域国際交流協会 (町田市)
小野美恵子	グッドナイト日本語 (江東区)
仁村 議子	NPO 法人 IWC 国際市民の会 (品川区)
中山真理子	NPO 法人 多文化こども自立支援センター (中野区)
宇野 公容	JCA 千歳船橋 (世田谷区)

### ◆ TNVN 第26回総会に参加された団体は以下の通りです。(内は区市名)

にほんごクラブ・ゆう (江戸川区)	日本語サークル「わかば」(世田谷区)
中学生・高校生のための日本語教室 (北区)	にほんご生活 (中央区)
やさしい日本語 (江東区)	ミンガラ日本語教室 (千代田区)
グッドナイト日本語 (江東)	初歩日本語 (練馬区)
NPO 法人 IWC 国際市民の会 (品川区)	ビバ日本語教室 (港区)
社会福祉法人 さぼりと21 (品川区)	にほんごの会くれよん (目黒区)
スペース・アイ (渋谷区)	多摩市国際交流センター日本語セミナー部 (多摩市)
早稲田奉仕園日本語ボランティアの会 (新宿区)	まちだ地域国際交流協会 (町田市)
	町田日本語の会 (町田市)

## Column 文字は体を表す

2019年の劈頭を飾った東京国立博物館の展示は「顔真卿—王羲之を超えた名筆」展だった。顔真卿(709~785)は唐代中期に活躍した政治家であり書家である。彼は顔法という独特の文字のスタイルを生み出した人であるが、就中遺されたものが彼の性格をよく表しているといわれている。今回の展示会の一番の見ものは「祭姪文稿」(台湾国立故宫博物院蔵)で、彼の激情的な性格を端的に示す名品としてつとに知られている。安史の乱で非業の死を遂げた従兄の顔季明と昊卿の末子の顔季明を悼んで書いた弔文の草稿であ

る。作品の中盤から文字が乱れ、消し、書き直しを頻りに繰り返し、正に紙面を文字が乱舞するようだ。しかし文章も文字も、当時の一流文化人を彷彿とさせる名品となっている。日本では空海の書に人気があるが、特に、彼の「風信帖」(京都・東寺蔵)は空海の知性と豪胆な性格がよく表れている。このように、書いたものには、それぞれ書く人間の思いや、その時の気分が文字や紙面に表現されている。それこそ、タイプ文字とは全く違う世界が書き文字の世界であるといえる。(JCA 千歳船橋・宇野公容)



TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVNの会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVNは会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

### 東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

◆日時：毎週金曜日午後2時~4時  
第5金曜日/休み

#### ◆場所

東京ボランティア・市民活動センター  
JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線-出口B2b)飯田橋駅下車  
セントラルプラザビル 10F ロビー

#### ◆日本語ボランティア相談窓口

日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。ご意見もお待ちしています。

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター  
メールボックス No.4

◆TEL：03-3235-1171

(呼出：金曜日活動時間帯のみ)

◆FAX：03-3235-0050

◆E-mail：webadmin@tnvn.jp

◆URL：http://www.tnvn.jp/

#### ◆郵便局払込

口座番号：00100-1-719259

加入者名東京日本語ボランティア・ネットワーク

#### ◆会員数 (2019年5月6日現在)

正会員：89団体

個人協力会員：15名

賛助会員：3団体

◆編集/大木 千冬、岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利、神 歩、床呂 英一、林川 玲子、山内 真理

◆レイアウト/美巧社